

## 次号予告

### 特集 企業事例

- 高信頼度システムの最適点検・保全方策 .....伊藤弘道 (三菱重工業)  
オフィスでの電力使用情報提示による電力有効利用支援効果  
.....大屋隆生, 馬場健司, 鈴木 正, 佐賀井重雄, 吉光 司 (電力中央研究所)  
水運用計画における対話型多目的計画法の適用事例 .....加藤博光, 栗栖宏光 (日立製作所)  
レンズ自動設計における最適化技術 .....松居 寛 (キヤノン)

### 編集後記

●今月の特集はITS (Intelligent Transport Systems) ですが、この言葉も周知のものとなりつつあります。マスコミ等でも頻繁に取り上げられる高速道路での自動料金徴収システムやリアルタイムの交通データに基づく経路誘導システムは、自動車交通の効率化に役立ちそうです。しかし、これらはITSのごく表層の一部であることが今回の特集をお読みいただくとお分かりになると思います。都市生活と産業活動のインフラストラクチャーである交通システムを、劇的に進歩しつつある情報・通信技術に立脚して根本から再構成しようという誠な試みが背後に存在しているようです。OR の分野で昨今よく話題になっているサプライチェーン・マネジメントも、こうしたインフラストラクチャーを前提として構築してゆくことになりそうです。道路や鉄道というハードなインフラはこれまでも存在していたものの、社会全体の便益を

見越しながら交通を制御するためのソフトな仕組みは未整備だった訳で、現在まさにそのための新しい一歩が踏み出されようとしているように思われるのです。

●翻ってみれば、ハードなインフラを人間指向で役立たせるためのソフトな仕組み (ソフト・インフラストラクチャーと呼ばれます) が望まれるような局面は、ITS のみならず遍在しているように思われます。職住が効率悪く配置された都市システムや都市の過密による廃棄物問題なども、法体系をもふくめたソフト・インフラストラクチャーによって制御し再構成せねばなりません。しかし、そのためには”ハードと関連したソフトな論理”が必要不可欠です。そうした論理に関わる基礎研究は、今後OR の分野で益々重要度を帯びてくるのではないのでしょうか。様々な分野でITS のような新たな一歩がもたらされんことを、そしてOR がその一助となることを祈ります。(栗田 治)

### オペレーションズ・リサーチ 編集委員会

委員長 田口 東(中央大学)

委員 大屋隆生(財電力中央研究所), 北澤英理子(東京ガス株), 栗田 治(慶応義塾大学), 繁野麻衣子(筑波大学), 清水康司(青山学院大学), 田村明久(京都大学), 中川慶一郎(株NTT データ), 難波和明(東京理科大学), 原 裕淳(株東芝), 平山克己(住友金属システム開発株), 松村良平(東京工業大学), 宮崎 知明(富士通株), 山下英明(東北大学), 吉野秀明(日本電信電話株)

本誌に掲載された記事についての著作権は、社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会に帰属する。

## オペレーションズ・リサーチ

平成12年7月号 第45巻 第7号 通巻475号

代表者 長谷川利治

発行所 社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会  
東京都文京区弥生2-4-16 学会センタービル  
電話 03-3815-3351(代) FAX 03-3815-3352 〒113-0032

編集人 田口 東

発売所 株式会社 日科技連出版社

東京都渋谷区千駄ヶ谷5-4-2 〒151-0051

### ●本誌のご注文は直接

日本オペレーションズ・リサーチ学会へ 定価970円(本体924円)年間予約購読料11,040円(税込)

### ●本誌への広告お申し込みは明報社(3546-1337), 日経弘報社(3563-2241)へ